

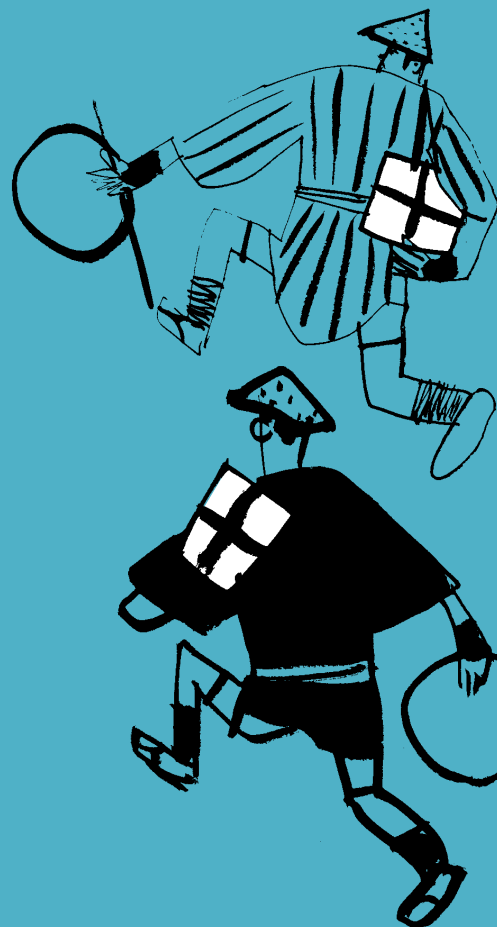
月刊島民

中之島

Vol.36 2011 7/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



中之島から始まる旅。



ナカノシマ大学

「御舟かもめ」に
乗って学ぶ、
中之島の川と船。
中野弘巳

申し込み受付中!

熊野へ参らんと思つども

からより参れば道遠

すゝれて山崎

馬より参れば

参行成らず

空より参らん

羽を賜へ

若王子

一謀歴秘抄

窪津王子

京都を出発した熊野詣の一行は、淀川を船で下りて摂津の国大坂、天満の八軒家に上陸した。そこで、これは熊野往還の基地として大層栄えた。ここに窪津王子があり、王子社の第一番である。渡辺橋があったので、渡辺王子ともいふ。昔国府があったところとして、コウフがクボツになったともいふ。

坂口王子

郡戸王子

中之島から始まる旅ノ巻

熊野詣

水路、街道、港に電車、宇宙へのトリップ。
中之島界限はあらゆる「旅」の発着点となってきた。
歴史を伝える記念碑や逸話が街のあちこちに残り、
その気になれば、踏み出す一歩は旅路となる。
中之島から始める、旅のススメ。

大阪から和歌山へ。 天皇が始めた信仰の旅。

取材・文／金哲志（本誌）

天満橋界隈を歩いていると、熊野詣に関する石碑や場所を見つけることができる。古来より修験道の修行の地とされ、浄土の地と見なされた熊野には皇族・貴族が頻繁に訪れた。それに



窪津王子が合祀されている坐摩神社行宮。「九十九王子」とは実際に99社あるわけではなく、それくらいに多いという意味。



伴い、今の天満橋あたりは参詣道の起点として大いに賑わうこととなる。現在、船着場のある八軒家周辺は、平安時代には「渡辺ノ津」と呼ばれていた。熊野詣においては京都を出発して船で淀川を下り、渡辺ノ津で上陸して熊野を目指す。参詣途中で儀礼を行う神社を「王子」といい、第二王子である「窪津王子」は、船着場から西に200mほど歩いた坐摩神社行宮に合祀されている。

熊野詣が皇族の恒例行事となったのは寛治4年（1090）の白河上皇からであり、後白河上皇の時代に最盛期を迎えた。後白河上皇自らが編纂した今様

冊子でつなぐ、熊野詣の今と昔。

八軒家から熊野詣を始めるにあたって、立ち寄っておきたい場所がある。創業明治6年（1873）の老舗昆布店「永田屋昆布本店」だ。

昭和40年（1965）、先代の永田浅次郎さんは、八軒家の歴史を広めるべく、店先に「八軒家船着場跡碑」を建てた（右下写真）。また、「八軒家の今昔 熊野街道のはじまり」という小冊子を無料で配付。これは、当代の永田善一郎さんが様々な



文献を紐解き、大学教授など多くの人に協力を仰いで作成したもの。「先代は歴史が大好きで、八軒家や熊野詣の本を出版するほどだったんです。自分もその志を継いで、せっかく八軒家という由緒ある地で商売させてもらっているんやから、もつとこの場所のことを知ってもらおうと思ってやっています」と善一郎さんは話す。八軒家の様子や歴史を安藤広重や歌川國員の錦絵を交えて詳しく紹介しており、当時の八軒家や熊野詣への理解を深めるにはうってつけの一冊だ。



石碑の除幕式には当時の中馬馨大阪市長も参加。先代への謝意を伝える書簡もある。



永田屋昆布本店

北海道道南産の天然真昆布と土佐沖で獲れたシビ鯉を使用した看板商品の「黒潮」（630円）は、ご飯のお供にも良いがお酒のアテにもなる逸品だ。
☎06-6941-4961 9:00AM～6:00PM 日・祝休



あい糸旅館

熊野詣の参詣客が訪れ、八軒家が宿場町であった名残を今に残す。こぢんまりとした旅館の室内は純和風といった趣で、手入の行き届いた気持ちの良い空間。料金は大人1泊4,300円～。
☎06-6941-3774



大阪府 歴史街道ウォーキングマップ

大阪府が発行している街道歩きのためのマップ。街道沿いにある史跡や名所のほか、休憩所やトイレなどの情報も盛り込まれている。熊野街道だけでなく、竹内街道や京街道など大阪から各地へ延びるその他の街道のマップもあり。ネットで「大阪府／歴史街道ウォーキングマップ」と検索すれば、簡単にダウンロードすることができる。



熊野詣の風景と、旅にまつわる歌を紹介した「熊野九十九王子絵巻」より、窪津王子の様子を描いた箇所。

の歌謡集『梁塵秘抄』の中にも熊野詣に関する歌があり、当時の上流階級の熊野への熱い思いがうかがえる。歳月を重ねていく中で熊野詣は一般庶民にも広まることとなり、江戸時代には参拝者が途切れることのないさまから「蟻の熊野詣」と呼ばれるまでに浸透したという。

今でも大阪から熊野へと向かう人々はいらるのだろうか。八軒家にほど近い、昭和28年（1953）に開業した「あい糸旅館」の代表取締役・永田庄次さんに聞いた。「今もちらほらいらっしゃいますね。東京からはるばる来たという方もおられます。八軒家で集合して熊野へ行く会などもあるそうですよ」ウォーキングや街歩きブームの効果もあるのだろうか。八軒家から始まる熊野詣は、まだまだ昔話ではない。

三十石船

「出会い系物語」生んだ、
大坂・京都の大動脈的船旅。

取材文／松本創（本誌）



安藤広重の浮世絵「京都名所之内 淀川」。三十石船とその乗船客にももの売る「くわんか舟」が描かれる。

「天満八軒家は、伏見へ上る淀川船の大坂駅になっている」という一文から、その場面は始まる。

一軒の船宿から悠然と現れた男は、幕府おたずね者の坂本竜馬。隣の宿から見ていた新選組の藤堂平助が追い、2人は船着場で相まみえる。一瞬の視線で交わす心理戦。藤堂は竜馬を逃す。無事船に乗り込んだ竜馬は、藤堂が剣術道場の後輩だったと連れの者に明かす。



司馬遼太郎『竜馬がゆく』の一場面。現在の土佐堀通は、幕末にはまだ川で、岸には8軒（もつとあったとも言われる）の船宿が並んでいた。八軒家浜と呼ばれた由縁だ。新選組の常宿「京屋」跡には銘板がある。その西隣に竜馬の泊まった「堺屋」があった。宿の裏手が船着場で、三十石船が出入りしていた。

船旅の様子は、やはり司馬の短編『棺は宝蔵院流』にある。伏見へは川の流れて逆らって上るので一晩がかり。狭い船内は芝居の枱席のように縄で仕切っているが、横になるには3人分の席

がある。その席取りをめぐつて、新選組きつての剣客・斎藤一と、槍の名手・谷三十郎が出会うところから物語は始まってゆく。

最盛期には1日数千人が往來したという大動脈ゆえ、こうして人が行き交う話がたくさんある。『東海道中膝栗毛』の弥次さん喜多さんもこの船で大坂に入ったし、森の石松の有名な「江戸っ子だつてね、寿司食いねえ」も、乗り合わせた客に言った台詞だ。

2008年には八軒家浜の船着場が新たに整備され、翌年には結婚式もできる「川の駅」ができた。八軒家浜は、いまでも出会いのターミナルなのである。



大阪水上バス アクアライナー

八軒家浜を出て、中之島の風景や大阪城を眺める大川クルーズ。貸切専用の「中之島一周コース」のほか、季節に合わせたイベントクルーズも。5～6月には、三十石船の航路を枚方までたどる「舟運復活！淀川歴史探訪の旅」が行われ、11月にも運航予定。予約・問い合わせは☎0570-035551



南天満公園内にある「淀川三十石船舟唄碑」も、当時の旅の様子を伝える。

旅之便利帳

高麗橋の東詰。西日本の主要道路の起点となった里程標の前にたたくずむ、菅笠の旅人は竹岡寛文さん。今年、大津の追分町からこの場所まで55kmの京街道を歩くイベントを開いた。「2回に分けたんですが、初回は元旦。固い雪道の大阪や山科を歩き始め、行ける所まで行こうと樟葉まで。2回目の4月が、樟葉から高麗橋。ゴール後に天満橋のカフェで道中を振り返るスライドショー兼打ち上げをしました」。

学生時代、街道筋の街並みを研究した竹岡さんは、3週間かけて中山道を踏破した。東京・日本橋から木曽路を

「身をもって」地を知る 今様・京街道ウォーク。

取材・文／松本創（本誌）



たけおか・ひろふみ
滋賀県立大学で建築を専攻。古民家の再生や活用に関わる。卒論では「身体経験による空間認識の研究」をテーマに中山道を調査。大阪への就職を機に、さらにルートを開拓中。本職は、天神橋の事務所に勤務するデザイナー。

抜け、京都・三条まで540km。京街道ウォークはその延長なのだが、目的が面白い。
「歩く身体感覚を取り戻したいんです。いま滋賀から大阪まで歩く人はいませんが、昔は誰でも普通に歩いていましたし、やってみれば意外と歩ける。それに街道筋を歩くと、なぜここに道ができたか、理由も分かってくるんです」
京街道には峠越えがあり、4つの宿場があり、淀川沿いの道があり、「道とは、身をもって地を知ること」。街道の旅人、竹岡さんの持論である。



【京都・橋本遊郭】格子戸など緻密な造作が今も見られる。



【京都・八幡御幸橋】正面には石清水八幡宮が見える。



【京都・伏見藤森】住宅地を縫うように進むかつての街道。



【京都・山科大塚】今や車中心の道。狭いうえ歩道もない。



【滋賀・大津追分】雪の積もる中、京街道ウォークスタート。



【京都・府境付近】当時の宿間はこんな雰囲気だったか。



【大阪・牧野】京街道は現在の京阪本線に沿う部分も多い。



【大阪・枚方鍵屋前】京街道で最も往時の風情が残る。



【大阪】風の強い淀川堤防を1時間半あまりひた歩く。



【大阪・守口宿】いわゆるカラ一舗装は旧街道のあかし。

中山道～京街道に行く「音速スライドショー」を開催!

中山道～京街道の道行きを100mごとに撮影した写真は合わせて約6000枚。これを高速で次々と再生し、旅程を疑似体験する。竹岡さんが実際に歩いた時のエピソードや解説も交えた街道トーク&スライドショー。●7月15日(金) 7:00PM～ ※詳しくはP11に



【大阪・高麗橋】到着! 今は高速の入口となっている。



【大阪・天満橋】ゴールの高麗橋まではもうあとわずか。



【大阪・京橋中央商店街】にぎわうアーケードを抜けて…。



【大阪】京街道の名を今に継ぐ「森小路京かいどう商店街」。

中之島から始まる旅ノ参

京阪電車

取材・文／若狭健作（本誌）

普段とは違うどこかへ。
電車に揺られて旅に出かける。



大阪の都心部から琵琶湖まで、旅の道筋はほとんど延びる。（橋爪紳也コレクションより）

明治43年（1910）、天満橋から京都・五条間で運転を開始した京阪電車。昨年にはじめてたく開業から100周年を迎えた。大阪の中心部と世界屈指の観光都市・京都を結ぶ京阪電車の沿線には、多くの神社仏閣や行楽地があり、長年沿線住民の旅情をかき立ててきた。昭和11年（1936）ごろに発行された「沿線名勝案内図」などを見て、観光地の写真や旅館のイラスト広告が入って実ににぎやかである。また昭和2年（1927）には、ゆつたりと二人掛けの「ロマンスカー」を日本で初めて導入。その後もテレビカーや座り心地を追求したシートなど、快適な車両づくりにも余念がない。



今や通勤や通学の足としてなくてはならない存在だが、鉄道旅の楽しみも健在だ。はじめは淀屋橋駅から「ジュースサーバー」のフレッシュジュースで英気を養い、特急列車に乗り込む。北浜～天満橋の地下駅を抜けると、一気に視界が明るくなり右手に大阪城がお出ました。左手には桜之宮エリア、

旅之便利帳



京阪電車

島民なら誰もが知る鉄道路線。沿線の魅力を紹介するウェブサイト「おけいはんねっと」では、季節ごとの沿線の見どころ紹介やイベント情報などが満載。祇園祭や天神祭など、お出かけ前にはぜひのぞいてみてほしい。
<http://www.okeihan.net>

春には絶景となる車窓は、旅の出発にふさわしい。行き先を決めようと、車内の沿線案内図を眺めてみる。すると、近江舞子の海水浴場、びわ湖遊覧船「ミシガン」、比叡山、



京橋駅名物フランクフルト（110円）を購入。これは旅のおともにも欠かせない。



スタンプラリーのシートには、弘化2年(1845)に発行された「御迎え人形一覧」を使用。現存するものの欄が空白になっており（この写真では赤色）、そこにスタンプを押していくと一覧が完成する面白い趣向。
※入館料・休館日などは会場によって異なります。

神さまが旅する 天神祭にちなんだ 御迎え人形スタンプラリー

天神祭の陸渡御・船渡御とは、言うなれば大阪天満宮の天神さんによる氏地への旅。その祭において、江戸時代、神さまをお迎えする船を飾る役割を果たしていたのが「御迎え人形」だ。羽柴秀吉、酒田公時など、当時流行の歌舞伎や浄瑠璃などに登場するキャラクターを人形にしていた。現存する16体はすべて大阪府の有形民俗文化財に指定されている。今年からは、御迎え人形を見て回るスタンプラリーが開催される。大阪天満宮や帝国ホテルなどの展示会場を巡り、スタンプを集めていくのだが、展示されるのは年に7～8体ずつとあって、1年ではコンプリートできない。数年がかりの長い旅を楽しむことにしよう。

御迎え人形スタンプラリー

今年の展示会場は大阪天満宮、帝国ホテル大阪、OAP、追手門学院大阪城スクエア、大阪くらしの今昔館の5カ所。シートは7月10日(日)～25日(月)、大阪天満宮で御迎え人形修復基金(100円)と引き換えに手に入る。スタンプラリーの期間は7月10日(日)～25日(月)。大阪天満宮のみ23日(土)から。☎06-6353-0025（大阪天満宮社務所）

あんな旅、こんな旅。

昔から現在まで、物も集まれば人も集まる場所である中之島。海外から果ては宇宙まで、いろんな旅がそこにはある。

取材・文/金 哲志(本誌)



宇宙への旅を完全再現! CG映画「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」

小惑星探査機「はやぶさ」が宇宙での長い旅を終えて奇跡の帰還を果たし、日本中が歓喜の渦に包まれてから1年。今秋には竹内結子主演でドラマ映画も公開されるなど、帰還後は盛んに映像化されている。実はそのルーツは中之島。大阪市立科学館では、はやぶさの旅に同行する目線のCGムービー「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」を、1年がかりで企画・制作し2年前から上映している。学芸員で、この作品の総合プロデューサーでもある飯山青海さんは「最初はあまり注目されませんでした。帰還後は大注目を浴び、ありがたいことに今では全国各地で上映されている。7月からも再上映されるので、中之島から宇宙へと旅立つ人が増えると嬉しいですね」と語る。

大阪市立科学館

「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」は7月17日(日)～8月31日(水)まで復活上映。1日1回11:00AM～(開館延長日は5:00PM～の回も)。プラネタリウムのドームをいっぱい使った全天周映像は迫力満点で、はやぶさの旅を追体験できる。観覧料大人600円。☎06-6444-5656 9:30AM～5:00PM 月曜休

©はやぶさ大型映像制作委員会



中之島の西の端、 外国人たちの旅の発着点。 旧川口居留地

居留地(外国人居留地)とは、明治政府が外国からやって来た人たちの居留や交易のための区域として認めた場所。中之島の西端に位置する西区川口にも、ガス灯や街路樹、洋館が建ち並ぶ川口居留地があった。近代的な貿易港として大いに期待された川口だったが、堂島川と土佐堀川の河口に位置していたため、水深が浅く大型船の入港ができないことや、維新後の混乱で大阪の豪商が没落していたことから、貿易商たちは神戸へと移り、明治32年(1899)に廃止。しかし、居留地に生まれた川口基督教会は、その後大正9年(1920)に壮麗な大聖堂を建設。その姿は今なお居留地の華やかな時代の面影を残す。

世界40カ国を旅した
ライター！近藤雄生が大阪を歩く。



遊牧夫婦 in 中之島

旅人



こんどう・ゆうき 1976年生まれ。東京大学大学院を修了後、世界放浪の旅へ。現地レポート記事を日本の雑誌に送り、さらなる旅の資金を稼ぐ「遊牧ライター」生活を送る。帰国後もその経験を活かしながら、執筆活動を継続中。世界40カ国での旅の様子は『遊牧夫婦』に詳しい。今秋には続編も発売予定。

中之島へ、一泊二日の旅に出る。

京都の自宅で荷物を詰めながらふと思う。ユーラシア大陸を1年かけて横断するときと何気を持ち物はそう変わらないな、と。必要なものはどこに行こうが同じだし、それだけあればどこにでも行けるのだ。

京阪電車の淀屋橋駅で降りると、雨だった。目的もなく歩き出し、淀屋橋、大江橋を渡り、島の北側へ。そこから川沿いに西へ歩いた。

雨の中をゆつくりと歩きながら、タイ北部の山奥での大雨を思い出す。バイクの後ろに妻を乗せてずぶ濡れになって疾駆したな、と。すると、ちょうどその妻から電話がかかってきた。5年におよんだ夫婦での旅の際はほとんど一緒にいたのだが、今日は娘とともに京都の家にいる。

「靴、あったら買ってきてくれへん？」

そうだ、1歳の娘のための靴を買わなくてはならなかった。古い商店街の靴屋にありそうな、安くてべらべらなものを買う必要があった。

「中之島にあるか分からないけど、探してみるよ」

この辺は普通のビジネス街なのかと思いつつ田蓑橋を渡って中之島の島部分に戻ると、市立科学館や国立国際美術館が。その南側の、「西」のショップに入ると、見慣れぬ形の木の物体がずらりと並んでいた。なんだろう、と聞いてみる。

「道具なんです。不完全なもの、使いづらそうなものを、工夫して使っていただきたいのです。目的を決めずに余白を残しておきたいというのがコンセプトです」

共感できた。自分も、生き方は先が決まっていなくても楽しいと思っている。その2階のカフェ「Tuno」に入りエスプレッソと塩キャラメルクレープを頼んだ。ビジネス街って印象だったけれど、歩くほどに中之島が文化的な土地であるのが感じられた。そして、あ、と思い、お皿を下げて来た店員さんに聞いてみる。

「この辺に、靴屋さんはありますか？」



梅田の方に行かないといけないのでは、という。この辺はビジネス街ですからね、と…。

さらに西へ。島の北側の、整備された遊歩道のある川沿いを歩きながら、ふとシンドニーが思い浮かんだ。長い旅が始まったときに2人でちよつと座った場所に似ていたのだ。旅をすると、場所の記憶がどんどん増える。その景色が、他の場所と呼び覚まされるとき、いつも不思議な暖かさを感じる。つながってるな、というような…。

日が暮れてきた。そろそろ宿に行こうか。中之島の少し南、地下鉄阿波座駅のそばにある「Hotel 64 Osaka」。日本に帰ってきて以来、初めて泊まるゲストハウスに胸が躍った。宿での人との出会いは旅の醍醐味の一つだからだ。

夜、一緒に飲んだ若い男性は、新しく任された仕事の過酷さに耐えられるかどうか悩んでいた。宿のスタッフの1人は、翌日から被災地へ行くんです、と言った。また夜中にラウンジで話し込んだポルトガル出身の建築家・マニエルはこうつぶやいた。

「じつはタオ・アンドウに電話して仕事をお願いしたんだ。丁寧に対応してくれたけど、やはり簡単ではなかったよ…」

それぞれが異なる目的で、この夜の宿に集まっていた。

翌朝。雨の中、昨夜のスタッフが気仙沼へ向かったあと、他のスタッフに懲りずに靴屋について訪ねた。

「南森町の天神橋筋商店街にありそうですね」

地下鉄に乗って、日本一長いというその商店街に行くと、昼からすでに酒盛りをする人もいた。中之島とはまた違った大阪の賑わいがあった。ここならありそうだなと思いつて歩き続けると、やはり。赤い布の小さな靴。似合いそうだなと頬が緩んだ。旅の終わりが見えてきた。

京都で京都に戻するために天満橋へと戻った。しゃらしゃらと傘にあたる雨音を聞きながら中之島の東端と天神橋を眺めた。こんな都会の真ん中に島があるのは、奇跡のようだ。そして島の周りには、いくつもの人生が凝縮していた。また来たいなと思った。今度は、妻と、赤い靴を履いた娘も連れて。



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

2011年
8月講座

**[御舟かもめ]に乗って学ぶ、
中之島の川と船。** 講師／中野弘巳（[御舟かもめ]船長）

ナカノシマ大学初の
「水上講義」！
大阪を流れる川と、
行き交う船について、
船に乗りながら学ぼう。

月刊島民が舞台とする中之島は2つの
川に挟まれたユニークな場所。しかし、
その中之島を「島」として形づくる川の
ことや、その上を行き交う船のことを、



気に留める人は
少ない。けれど、
あらためて考え
てみると、素朴
な疑問がいっぱ
い。川の水はど
こから来て、ど

こへ行くのか？ 魚は棲んでいるのか？
潮の満ち引きの影響はどれくらいなの
か？ はたまた何種類の船がどんな目的
で航行しているのか？ 船さえあれば誰
でも乗り入れて良いのか？ 日々、大阪
の川を「仕事場」とする[御舟かもめ]
の船長・中野弘巳さんに、船の上で意外
と知らない川のことを教えてもらおう。



PHOTO: YUJI OGURA

コース 八軒家浜～大川（源八橋付近）～大阪城～堂島川（大阪市役所付近）～八軒家浜
所要時間 乗船前講義～乗船～クルーズ（約50分）～質疑応答など～下船（全体で約70分）
出発時刻 [朝の部] 1時間目／9:30AM 2時間目／11:00AM
[夜の部] 3時間目／5:00PM 4時間目／6:30PM 5時間目／8:00PM
※全便飲み物付き、飲食物の持ち込みOKです。※乗船は各便10分前から開始します。

募
集
要
項

[御舟かもめ]に乗って学ぶ、中之島の川と船。

開催日／8月20日（土）
講師／中野弘巳（[御舟かもめ] 船長）
受講料／3,000円（1ドリンク・保険代込み）
集合・解散場所／八軒家浜船着場
（京阪電車・地下鉄天満橋駅直結→地図P23）
定員／各便8名
主催／ナカノシマ大学事務局 御舟かもめ

お申し込み方法 ●[御舟かもめ]のウェブサイト内の申し込み専用フォー
ムにて、乗船希望の便を選んでお申し込みください。http://www.ofune-
camome.net/ ●受講料のお支払いは、後日、郵便振替にてお願いします。
乗船当日に郵便振替用紙をお配りします。

ご注意事項 ※今回のお申し込みは、都合によりインターネットからのみ
とさせていただきます。ハガキ・ファックスでの受付は致しませんのでご了
承ください。 ※荒天の場合は中止と致します。開催の有無は主催者側
で判断し、前日までに、メールやインターネットでお知らせ致します。
◎お電話でのお問い合わせ [御舟かもめ] ☎06-6881-2877

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→





東日本大震災についても、神道と仏教、それぞれの立場から考えを述べ合った。高島先生はスポーツ選手のコメントを紹介。釈先生は「聖地というものは、どんな困難も乗り越え、どんな物語もプラスにして復活する。聖なる物語の多く残る東北の復興も、その観点から考える必要がある」と提案した。

2011年5月19日(木)

「大阪の神さん、仏さん part.1〈神さん編その2〉」

◎北御堂 対談／釈 徹宗(浄土真宗本願寺派住職)

高島幸次(大阪大学招聘教授／大阪天満宮文化研究所員)

釈 徹宗先生と高島幸次先生による人気対談シリーズの第2回目。神社や神道一般についての前回を受けて、今回はいよいよ大阪の神社の特徴に迫っていった。

前回同様、まずは高島先生のプレゼンテーションによって講座はスタート。神格の高い神社が多い大阪の中でも、高島先生が取り上げたのは御鎮座1800年を迎える住吉大社だった。住吉明神はその



第3弾は7月22日(金)、追手門学院大阪城スクエアにて「大阪の神社と夏祭り」について。「夏は天神祭、12月25日は“終い天神”」。これから大阪人は「メリー終い天神」と言ってほしいと思います。釈先生の高度な当地ギャグの推奨により、講座は賑やかに締めくくられた。

昔、軍神であり、唐から渡船してきた歌人・白楽天を、和歌を詠じて追いついたという能のエピソードがそれを物語る。しかし平和な時代になると、これが「和歌の神」としてのご利益を表す逸話として機能したという。

また、江戸時代の大坂には中之島を中心に100以上の藩の蔵屋敷が置かれていたが、それぞれが本藩から神社を「勧請」(神仏の分霊を他の地に祀ること)し、屋敷の中には鳥居が置かれた。高松藩なら金比羅神社、土佐藩なら土佐神社といった具合で、現在も朝日ビルの屋上には宇和島藩にあった和霊社がお稲荷さんとして祀られている。蔵屋敷にあった神社の名残は大阪のあちこちに見つけることができ、西長堀の市立中央図書館裏の土佐稲荷神社も、もともとは土佐藩蔵屋敷にあったもの。この地は三菱財閥の創始者である岩崎弥太郎が事業を始めた場所であり、神社への寄進が多かったことから、神紋が「三菱」だという驚きの事実も写真で紹介された。

こうした勧請や神格の移り変わりを大阪の神社の特徴として挙げた高島先生。



「神社は、地元庶民の好き嫌いによって、作られたりなくなったりしていいのか」と切り込んだところで、釈先生との対談に入った。

蔵 屋敷がなぜ寺ではなく神社を勧請したのかについて、釈先生は「蔵屋敷=ひとつの村」という図式から解答を試みる。「村には、絶対に神社が必要。村の理屈で動いていた藩ほど、神社を必要としたのではないのでしょうか」と解き、「神社を勧請したのは、蔵屋敷が先祖供養ではなく、経済的な利益を求めて祈願する場であったためではないか」と明快なご指摘。高島先生も「面白いテーマですね」と今後の課題として受け取った。

終盤には釈先生が宗教とツーリズムの関係の深さを提示、対談は新たな展開の兆しを見せた。すると、高島先生は「天神さんは、平安時代の中頃は疫病の神で、江戸時代には学問の神になった。でも、実は天神さんのベースは大将軍社で、菅



原道真が太宰府へ迷わず辿りつけるように祈願した方角の神様なんです。大学全入時代の今日、天神さんの次の展開は、旅行の神さんでしょうか」と、大胆に大阪の神さんとツーリズムを結びつけた。こうして時代ごとに「神格」を変化させて、その土地と人の在り方を映しだしてきた大阪の神さん。庶民との「都合のよい関係」も明らかになってきた。次回へ向けて大きな期待感に包まれたまま、ひとまずその幕を降ろした。



淀屋橋odona アイ・スポット通信

2011年7月



淀屋橋駅直結の複合型商業施設「淀屋橋odona」の2階にある情報発信スペース「アイ・スポット」では、大阪の歴史に関する展示が無料で見られるほか、月刊島民をはじめとするフリーペーパーなど街の情報も集まっています。さらに、毎月さまざまなミニセミナーも開催。会社帰りに、街遊びのついでに、ぜひお立ち寄りください！

トーク

7/15 (金) 7:00PM~9:00PM

月刊島民 淀屋橋大学

「中山道〜京街道をゆく 音速スライド&トークショー」

講師／竹岡寛文（街道歩きの旅人・デザイナー）

特集でもご紹介した街道歩きの名人こと竹岡寛文さん。今回の講座では、竹岡さんが街道を100m進むごとに撮った6000枚にもぼる写真を1枚0.3秒の高速で再生。街道歩きを疑似体験できる。ふだん知っている風景も、街道という長い「線」の中に位置づけられることで、その成り立ちや地形、機能まで理解でき、都市の再発見につながる。また、「歩く感覚を取り戻す」ことを街道イベントの目的に掲げており、街道歩きの楽しみも伝えてくれる。●予約不要・当日先着順
●同時開催！7月1日（金）〜7月15日（金）まで、竹岡さんが撮った写真の展示会を行っています。



セミナー

大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座

7/7 (木) 6:30PM~8:00PM

「大震災の経験から学ぶことー避難所を中心としてー」

横田 隆司（大阪大学大学院工学研究科・教授）

阪神淡路大震災以降も大災害は幾度となく続き、今回の大震災に至っています。阪神淡路大震災のときはどうだったか？と考えがちですが、避難行動や避難所の様相は地震あるいは地域によって様々です。多様さを議論しつつ、大阪の防災について考えます。定員：30名

7/11 (月) 6:30PM~8:00PM

「危機事態の行動と心理」

釘原 直樹（大阪大学大学院人間科学研究科・教授）

この講義ではマスコミの非難ターゲットの変遷過程とそのメカニズムを取り上げます。危機事態の群集行動、特に緊急事態からの避難脱出に関する実験や事例研究、シミュレーション研究についてもふれることにします。定員：30名

7/22 (金) 6:30PM~8:00PM

「珍味ホヤのマッチョな発生生物学」

西田 宏記（大阪大学大学院理学研究科・教授）

我々はすべて直径1ミリの10分の1の受精卵から発生してきました。東北の珍味と称されるホヤの卵が、どう発生していきオタマジャクシになるかを見ながら、胚発生神祕に思いをはせてみましょう。macho-1という発生運命決定因子にも着目します。定員：30名

8/3 (水) 1:00PM~4:00PM

「コンピュータで動くふしぎなおもちゃづくり」

森 秀樹（大阪大学大学院人間科学研究科・助教）

電池で動く小さなコンピュータとモーターやセンサ、廃材や身近な材料を使って、プログラムで動くおもちゃを手作りします。今回は、実際にコンピュータを埋め込んだ作品をつくりながら、コンピュータについての理解を深めていきます。定員：小学生とその親12組

●受講料無料。各回実施日の1カ月前から申し込み受付（先着順）を開始します。

お申込みは、講座名・受講者ご本人のお名前・電話番号を、電話かメール、FAXでお知らせ下さい。定員に余裕がある場合は、直接会場にて、当日申込みをお受けします。

トーク

7/25 (月) 7:00PM~9:00PM

御堂筋Talkin' About vol.7

「地域活性化と映画」

ナビゲーター／生駒伸夫（生駒ビルディング）・小川清（平

岡珈琲店）・山納洋（大阪ガス）
あるテーマについて興味・関心を持つ人たちが、集まり語り合うサロン「御堂筋Talkin' About」。今回のテーマは「地域活性化と映画」。ご当地映画製作・ロケ誘致・映画祭開催など、映画による地域活性化にはさまざまな取り組みがありますが、今回は大阪を舞台に、その可能性について考えていきます。●予約不要・当日先着順



アイ・スポット 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona2階 TEL&FAX. 06-4866-6803 E-MAIL. i-spot@voice.ocn.ne.jp

開館時間：11:00AM ~ 9:00PM（土・日・祝 ~ 8:00PM） 年末年始休 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅10番出口直結 京阪本線「淀屋橋」駅徒歩1分
<http://nakanoshima-univ.com/site/ispot/>

申し込みも、
セミナーレポートも、
島民バックナンバーも...

ナカノシマ大学ウェブサイトで!



ナカノシマ大学のウェブサイトでは、毎月の講座の申し込みだけでなく、楽しめるコンテンツが満載。これまでに開催された講座の様子がわかる「セミナーレポート」のページのほか、島民のバックナンバーをダウンロードできるページもあり。島民、ナカノシマ大学のことならなんでも、ナカノシマ大学ウェブサイトどうぞ。

- 講座のお申し込み ●バックナンバーのダウンロード
- 過去の講座のレポート ●中之島の遊び方紹介

iPadでも見られます!

『月刊島民』がiPad用のアプリとして登場! iTunesストアで『月刊島民』と検索し、アプリをダウンロードするだけ。無料で簡単に手に入れることができます。毎月1日前後に最新号をリリースします。

21世紀の懷徳堂プロジェクト

7月の時間割

ナカノシマ大学ほか、
中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。
※大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、参加店舗を募集中です。お問い合わせはsingles@do.ai (common café) まで。

9	土	1:00PM~ 4:00PM	「あじさいハンカチ刺しゅうのワークショップ」 annas (アンナス) 川畑杏奈 (刺しゅう作家) 参加費: 3,200円+材料費1,000円 初夏のお花、あじさいを簡単なバックステッチでハンカチに刺繍します。初心者の方でも大丈夫です。持ち物: ボールペン	会場 F
		2:00PM~ 3:30PM	「女性のための健康講座〜子宮ガンの基礎知識」勝本善衛 (健診センター婦人科担当医) 受講料: 2,000円 知っておきたい子宮ガンのお話や、気になっている身体のお悩みを専門医師が解り易く説明します。女性限定です。	会場 E
		5:00PM~ 7:00PM	「奥村昭夫:第二土曜勉強会」奥村昭夫 (グラフィックデザイナー) 受講料: 3,500円 クリコやロートのロゴ、牛乳石鹸のパッケージなどで知られるグラフィックデザイナー、奥村昭夫氏を迎えたデザイン勉強会。	会場 B
10	日	12:00PM~	「『自然のレッスン』著者・北山耕平トークショー」 参加料: 1,500円 (1ドリンク付き) ネイティブについて、オーガニックライフについて、ちょっと興味のある方も是非!	会場 H
		2:00PM~ 6:00PM	「動物モチーフアップリケ付きミニ手提げ」IRIIRI (人形作家) 参加費: 4,200円 (お茶とお菓子付き) 動物アップリケをつけて小さな手提げを仕立てます。初心者でも大歓迎! 糸切り鋏をお持ちであればご持参ください。	会場 F
16	土	10:00AM~ 12:00PM/ 2:00PM~ 4:00PM	「工作教室Coppa!!-作って、遊ぼう! 水鉄砲」ムラバヤシケンジ (木彫アーティスト) 料金: 1,800円 竹や牛乳パックなどを使って水鉄砲を制作します。完成後は近くの公園で遊ぼう! ご参加お待ちしております。	会場 D
19	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ! ~古今東西名作朗読会~」石原正一 (役者・作演出家) 受講料: 1,500円 古今東西の名作を参加者全員で読みまくる夜です。具体的に配役に分けて名作文章の世界を楽しんでいただきます。	会場 A
24	日	1:00PM~ 3:00PM/ 4:00PM~ 6:00PM	「yamyam とゆらゆらプラ板ブローチづくりの会」 yamyam (イラストレーター) 参加費: 1,800円 (材料費込み・税込み) イラストレーター yamyamと「プラ板」で動物のブローチを作りませんか? yamyam手製のパーツもついてきます。	会場 F
27	水	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎 (翻訳家) 参加費: 1,500円 (お茶付き) 今回は、『エリカ 奇跡のいのち』(R.V.ジー作、柳田邦男訳) を読む予定です。	会場 G
30	土	8:00AM~ 10:00AM/ 1:00PM~ 3:00PM/ 5:00PM~ 7:00PM	「中之島の水辺で水上さんぽ」奥谷 崇 (インストラクター) 参加費: 3,000円 (レンタル一式+保険+協力金) ボードの上でバドルを漕いで進む水上さんぽ、バランス感覚が身に付きエクササイズにもオススメ! (約1時間)	会場 C

A common cafe

大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1F

☎06-6371-1800

<http://www.talkin-about.com/cafe/>

B 000 (オー)

大阪市北区西天満4-1-5 若松町センタービル2C

☎06-6362-5150

<http://www.outofoffice.jp/>

C 若松の浜 ※お問合せ: アクアスタジオ

大阪市中央区南船場2-7-14 大阪写真美術館3F

☎06-6125-0550

<http://aquastudio.jp/>

D morrison(studio)

大阪市福島区吉野4-20-13

☎080-3113-4816

<http://webmorrison.com/>

E フレイムハウス

大阪市中央区淡路町1-6-4

☎06-6226-0107 misalele39@gmail.com

<http://www.katana.cx/~fureimu/>

F タビエスタイル

大阪市中央区南船場4-4-17 B1

☎06-4963-7450

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/>

G 貸本喫茶ちようちよぼっこ

大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング4F

<http://www.geocities.co.jp/chochobock/>

H スタンダードブックストア

大阪市中央区西心斎橋2-2-12

クリスタグランドビル1F BF

☎06-6484-2239

<http://www.standardbookstore.com/>

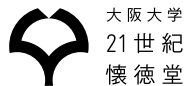


レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、
京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の [アートエリアB1]。7月のラインアップはこんな感じ。

1	金	7:00PM～ 9:00PM	オムツカフェ「オムツフィッターって、どんな人？」 定員:30名程度 大人のオムツについてカフェをします。オムツのソムリエとも呼ばれるオムツフィッターのみなさんとお話してみませんか。ゲスト/オムツフィッター/チーム関西のみなさん
6	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ/新・哲学セミナー「ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』を読もう(2)」 定員:50名程度 ガイドと他の参加者とともに、『ツァラトゥストラはこう言った』(岩波文庫)を読みませんか。今回だけの参加でも楽しめます。ガイド(進行)/菊地建至(関西大学非常勤講師)
8	金	6:00PM～ 8:00PM	ポピュラーカルチャーカフェ「プロレスライター・斎藤文彦さんをお迎えして」 定員:30名程度 プロレスライターの斎藤文彦さんをお招きし、プロレスの魅力について考えます。“スポーツ芸術”プロレスの源流を、一緒にたどってみませんか? ゲスト/斎藤文彦(プロレスライター)
12	火	7:00PM～ 9:00PM	鉄道カフェ「鉄×マン・リターンズ」 定員:30名程度 鉄道ファンから、初心者まで、幅広い層が参加する鉄道カフェ。今回は鉄道マンガをテーマにして対話の場を設けたいと思います。
13	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ/書評カフェ「がん 生と死の謎に挑む」 定員:50名程度 「がん」という疾病に焦点をあてて、何を知り、何をすべきか、立花隆著『がん 生と死の謎に挑む』を手本に参加者と考えてみたいと思います。進行役/藤本啓子(カフェフィロ)
14	木	7:00PM～ 9:00PM	プロジェクト・ミーティング「大阪に、中之島に必要な美術館を考える4/美術館における仕事」 定員:30名程度 美術館とは、作品や資料の収集・保存・展示や、それらに関する教育・普及・研究を行う施設です。今回は“美術館における仕事”をテーマに対話を深めます。ゲスト/菅谷富夫(大阪市立近代美術館建設準備室研究副主幹)
22	金	6:30PM～ 8:00PM	カフェ・オンザエッジ4 ～先端の科学者が見ているコト・モノ～「“がん”を見つけるカメラ、“こころ”を写すカメラ」 定員:70名 20世紀以降、超音波・磁気などを利用して、体の中を撮影できるようになりました。カメラの開発やそこから得られた最新の情報を紹介します。ゲスト/畑澤順(大阪大学大学院医学系研究科教授・免疫学フロンティア研究センター教授兼任)
27	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ/哲学カフェ「原発について何を知るべきか」 定員:50名程度 福島第一原子力発電所の事故が発生して約4カ月。何を知るべきなのか、福島県南相馬市出身の進行役と一緒に考えてみませんか? 進行役/辻明典(大阪大学大学院文学研究科博士前期課程)、高橋綾(カフェフィロ)
28	木	6:30PM～ 8:00PM	カフェ・オンザエッジ5 ～先端の科学者が見ているコト・モノ～「ライブで見る身近にある「免疫」」 定員:70名 風邪を引いたときに喉が腫れる。これは体に備わる「免疫」によるものです。免疫細胞たちの動きと働きを紹介します。ゲスト/鈴木一博(大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任准教授)
31	日	3:00PM～ 5:00PM	シアターカフェ「演劇LOVE Work Shop」 定員:20名程度 今回は多田淳之介氏を講師に招き、公開ワークショップを行います。演劇の稽古で普段どんなことをやっているのか、その触りをご披露します。ゲスト/多田淳之介(東京デスロック主宰/キラリ☆ふじみ芸術監督)

会場/アートエリアB1 参加費/全て無料 開場/それぞれ30分前から 問い合わせ/[カフェの内容について] 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) ☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



大阪大学21世紀懷徳堂

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

30 8/6	土	10:30AM～ 12:00PM	「“からだ”ど“あたま”の鍛え方 part3 ～“人生の質”の本当の意味とは?」七五三木 聡(大阪大学大学院医学系研究科准教授) 「からだ」、「あたま」、「こころ」の関係を理解し、自分とはどのような存在か、さらには人生の質の本当の意味を考えていきます。講義のはじめにこれまでの復習をしますので、初めての方にも理解いただける構成です。 受講料 3,150円(全2回)
-------------------	---	---------------------	--

会場/大阪大学中之島センター インターネット、電話、ファックスか、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込みすることができます。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221 問い合わせ/朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224

●大阪大学×大阪ガス「アカデミクッキング」 「専門分野の講義」&「料理実習」で“学問するココロ”が実践的に身につきます。

8/5	金	10:00AM～ 1:00PM	「ようこそ!タンパク質ワンダーランド」栗栖源嗣(大阪大学蛋白質研究所教授) 私たちの体を動かしているもの全てに、タンパク質が深く関係しています。“タンパク質”のはたらきと形について勉強しながら食べてみましょう! 課題料理=卵、肉、ホウレンソウなど身近な材料を使った料理
------------	---	--------------------	--

会場/大阪ガスクッキングスクール千里 受講料/1,500円 対象/小学4年生～6年生とその親 12組 申込受付期間/受付期間は7月7日(木)～7月19日(火)(インターネットによる受付は7月7日(木) 0:00PM～、電話による受付は7月12日(火) 11:00AM～)。申込多数の場合は抽選の上、当選者のみ7月20日(水)にご案内を発送します。申し込み・問い合わせ/大阪ガスクッキングスクール千里 ☎06-6871-8561 http://www.og-cookingschool.com/

●大阪大学21世紀懷徳堂i-spot講座 →P11に情報あり。

大病院での研修は2年間認められていたの
で、私は外科の次に麻酔科の研修医になった。

同じ研修医でも、外科と麻酔科では何から何
までちがっていた。たとえば、同じ教授でも、
外科の教授は雲の上の人だったが、麻酔科の教
授は研修医でも直接話しかけることができた。



昼食も医局のテーブルでみんなといっしょに食
べたりする。麻酔中の昼食は交代で食べるので、
教授がその交代をやってくれることもあった。
教授が研修医の代理をするなど、外科では考え
もつかないことである。

助教授も気さくで、年も若かったので、気軽
に冗談が言えた。この助教授と同期の医師が、
外科では2階級下の助手だった。それだけ麻酔
科は医局員が少ないということだが、全体とし
て家族的な雰囲気だった。

当時、麻酔科の研修の大きな特徴は、平日に
1日休みがもらえることだった。「研修日」と
いう名目だが、その日は麻酔の担当がなく、休
んでもいいことになっていた。たぶん研修医を
集めるための「アメ」だったのだろう。私もそ
れに惹かれて麻酔科に行き、月曜を休みにした。

まだ土曜が休みでないころだったので、月曜を
休みにすれば毎週連休ということになり、大い
に魅力的だった。

しかし、「アメ」があれば「ムチ」もある。
麻酔科では午前7時15分からカンファレンスが
開かれ、毎朝6時過ぎに家を出なければならな
かった。大病院は大きな手術が多いので、夜
遅くまで麻酔をかけて、翌朝、早朝から出勤す
るのはつらかった。しかも、このカンファレン
スがなかなか気が抜けない。患者の病歴を報告
し、麻酔の方法などを検討するのだが、既往歴
や合併症を見落とすと、教授や助教授から厳し
い叱責が飛んでくる。この関門を突破するのが、
毎朝の憂鬱な日課だった。

麻酔科の仕事は、要するに手術中の麻酔をか
けることである。そんなことに専門の医師が必
要なのかと思う人があるかもしれないが、麻酔
は、いわば患者を一時的に仮死状態にすること
だから、はじめ（導入）と終わり（覚醒）にけ

つような危険がある。

全身麻酔では、筋弛緩剤を使って、全身の筋
肉を緩める。そうしないと、いくら意識がなく
ても、メスを入れたときに筋肉が収縮して、手
術がしにくいからだ。呼吸筋も緩むので、人工
呼吸が必要となり、口から気管にチューブを入
れなければならない。このとき喉の反射が残っ
ていると入らないので、先に筋弛緩剤を投与し
て、呼吸を止める。息が止まっているから、当然、
時間的な余裕はない。チューブが入りにくいと、
窒息の危険がある。あらかじめ試せばいいが、
それはできないので、ぶっつけ本番となる。焦



中之島ふらふら青春記② 久坂部 羊

〈研修医生活 麻酔科編Ⅰ〉

治療をしない 不思議な医者



って、無理に挿管しようすると、チューブが食道に入ったり、迷走神経を刺激して心臓が止まったりする。これが麻酔の導入のときの危険である。

覚醒のときの危険は、手術が終わって、自発呼吸をもどすときにある。筋弛緩剤を切ってもなかなか呼吸がもどらない場合がそれだ（覚醒遅延という）。高齢者の場合は、特にその傾向が強い。だから、手術が終わりがけると、早めに麻酔薬や筋弛緩剤を切って、自発呼吸を促すようにする。ところが、早く切りすぎると麻酔が浅くなって、バッキング（しゃっくり）が起こる。慌てて麻酔を深くすると、覚醒遅延になって、手術が終わっても延々と人工呼吸を続けなければならなくなったりする。

自発呼吸がもどると、気管チューブを抜くが、このときも緊張する。喉の反射がもどっているので、不整脈が出たり、胃液が逆流して、誤嚥性肺炎を起したりするからだ。また、チューブを抜いたあとに舌が後ろに落ちて、気道をふさぐ場合もある（舌根沈下という）。高齢者の場合は、特に要注意なので、しっかり覚醒したことを確かめるため、頬を打って、名前を呼んだりする。

私は、たまたま自分が住んでいる堺市の市長の麻酔を担当したが、高齢の市長はなかなか麻酔が醒めなかった。それで気管チューブを抜く前に、何度も頬を叩いた。堺市民で市長にピンタを張るのは自分くらいだろうと思いがながら。

麻酔科の仕事には、術前回診というものもある。手術の前日から前日に病室を訪ね、問診をして麻酔の説明をするのである。このとき、顎の形を見る。顎が小さい人や、奥に引っ込んでいいる人は、気管チューブを入れにくいので注意を要する。逆に、顎が大きい人やしゃくれ気味の人だと、ほっとする。

麻酔科はあらゆる科の手術を担当するので、外科だけでなく、産婦人科や脳外科の患者にも術前回診をする。脳外科では、翌日の手術に備えて、みんな頭を剃っている。若い女性の患者などは、それだけで痛々しかった。

いちばんつらかったのは、眼科で網膜芽細胞腫という悪性の病気にかった子供の回診だった。リストを見ると、手術は「眼球摘出術」となっている。まだ5歳の子ともで、病室で無邪気にオモチャで遊んでいた。明日、この子は片目を失うのかと思うと、やりきれない気持ちになった。母親と祖母が付き添っていたが、2人とも目を泣きはらして真っ赤だった。

麻酔科の医師は、すべての科の中で、唯一、患者を直接治療しない不思議な存在である。それだけに、他の科の医師にはない気楽さと屈折がある。

気楽さは患者の主治医をしないということだ。一歩病院の外に出れば、患者に対する責任がなくなる。患者の容態が急変したと呼ばれること

もないし、薬の問い合わせや、患者説明などに煩わされることもない。自分の研究や勉強の時間を取りやすい。休日も完全に仕事から解放されるので、精神衛生上も極めて有利だ。

屈折は医療の主役になれないことに起因する。患者は当然のことながら、治療してくれる医師や看護師には感謝するが、裏方の麻酔科医にまで感謝する人は少ない。他科の医師も、主治医をしない麻酔科は「気楽でいいな」と言いながら、内心で軽視しているのがわかるから、プライドが傷つけられる。私も外科から麻酔科に行くとき、指導医に「麻酔科なんか外科の奴隷やないか」と言われ、不愉快な思いをした。

手術がはじまってしまうと、執刀医の言いなりにならざるを得ないのも、麻酔科医の屈折を強めている。下手な外科医が鈍くさい手術をしていても、麻酔科医はじつと付き合わなければならぬ。ドクターストップをかけることもできるが、それはよほど命に関わるとき以外にあり得ない。

他方、手術がはじまるまでは、麻酔科医が優位に立っている。リスクが高いので麻酔はかけられないと言え、外科医は手術ができないからだ。だから外科医は、手術の前は麻酔科医を持ち上げる。それが表面上のことだとわかっているの、麻酔科医はよけいに屈折する。

私は研修を含めて3年間麻酔科におり、父も30年以上麻酔科医として働いたから、程度の差はあれ、この実感はまちがいないと思う。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

『リニューアルした雑誌『大阪人』9月号の特集「旅する24区」に、「都会の清浄天地」と題して

阿倍野墓地を歩くエッセイを執筆。墓地好きの筆者によるシュールな墓地散歩ガイドです。」

7・8月の講演会のご案内

東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

心の教育

スペシャリストになる — 学院卒業生による連続講演会 —



「第2回 夢への挑戦」
中西大輔氏
(植村直己冒険賞受賞、
サイクリスト、追手門学院大学卒)

7/15 (金)
18:30～20:00 (開場18:00)
入場無料 定員／200名



**「第3回
スペシャリストとは何か」**
中崎宣弘氏
(画家、追手門学院高等学校卒)

8/5 (金)
18:30～20:00 (開場18:00)
入場無料 定員／200名

講演会

世界からのメッセージ — 希望ある明日のために —



渡部陽一氏
(戦場カメラマン)

8/10 (水)
18:30～20:00 (開場18:00)
入場料／1,000円 (高校生以上)
※中学生以下無料。入場には
必ず保護者の方が同伴ください。
定員／400名

穏やかな語り口で人気の戦場カメラマン、渡部陽一氏。本講演では、渡部氏が戦場カメラマンになったきっかけや、戦場での取材を通して見た世界の悲惨な現状と、現地の市民や子どもたちとの交流を語っていただきます。「生きることの素晴らしさ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。

文化産業学講座 都市と文化を語る

第2回 地域発の狂言を創造する — 伝統芸能を生かした観光開発 —



橋本裕之氏
(盛岡大学文学部日本文学教授)

7/30 (土)
14:30～16:30 (開場14:00)
入場無料
定員／100名

上町学プロジェクト

「上町学 再発見・古都おおさか」 が出版されました!

奈良や京都だけが古都ではない!
「大阪を古都と呼ばないことこそ不自然である!」(有栖川有栖氏)
古都おおさかの中心・上町台地に堆積する
歴史的・文化的価値の再発見!



『上町学 再発見・古都おおさか』
●主な内容

1. 上町台地と古典芸能・文化
2. 上町台地と上方落語
(鼎談: 高島幸次・林家染丸・河内厚郎)
3. 上町台地の歴史と自然
4. 近代化と上町台地
5. 大坂城／大阪城
6. 大阪城は知っている
(対談: 有栖川有栖・河内厚郎)
7. 上町台地の魅力・
思い出・まちの再生
8. 上町台地の食べごと
(講演: 奥村彪生)

上町台地歴史年表
上町台地地図
参考文献

定価／2000円 (税込)
ISBN978-4-86306-084-5

大阪府有形民俗文化財展示



御迎え人形が お出迎え!

大阪城にゆかりの深い、
羽柴秀吉の人形を期間中展示します。

7/11 (月)～25 (月)
10:00～17:00
休館日: 7月18日 (月・祝)
入場無料

※講演会はすべて事前申込制。定員になり次第締め切ります。

今月の テーマ【旅人】

特集にちなんだ今回登場するのは、中之島へ旅をしにやって来た方々。
服装もやはり、旅のお目当てと関係しているようだ。

取材・文・写真／李 宗和



審査員／大平秀峰さん
[NAKAGAWA1948 尼崎店] 店長

島民にはおなじみ、淀屋橋にあるテラー [NAKAGAWA 1948] の、尼崎店の店長を勤める大平さん。正確無比の採寸テクニックは“ゴッドハンド”の異名も。アマからシマを見つめる。☎06-6417-3506



「シマ」案内のプロフェッショナル。

お見事！

福田知弘さん(39)

大阪の観光ツアーを手がける「OSAKA旅めがね」のクルーとして月2回ほどこのエリアを紹介しています。普段は大阪大学の准教授として環境工学、すなわち町づくりに関することを研究しています。大阪の街と深く関わっておきたいこの仕事を始めました。クルーとして気を遣っているのは知っていることを伝えるだけにならないこと。通過スポットに関するクイズをだしたりして、参加していた人を退屈させないようにしています。



大学の先生だからでしょうか、街歩きには足元がややカタイですね。ただ、「旅めがね」だけにメガネをかけていらっしやるのはさすが！ 旅と言えば遠方を思い浮かべがちですが、遠くだけでなく近くの観光スポットにもヒントが合う、街を見るための「遠近両用メガネ」といったところでしょうか。

長尾 司さん(年齢は内緒)

昔は東京で大学の教授をやっていました。引退する前も後も世界中を旅するのが好きで、100ヶ国はまわったんじゃないでしょうか。セイロン島にロゼッタストーンのような凄い石碑があるの知ってます？ そんな場所にも行きました。しかし、実は大阪初めてなんです…「水都大阪2009」のニュースを思い出し寄ったんですが、中之島は国際色豊かですね。まるでヨーロッパ。川からの眺めもよさそうなので、水上バスに乗りカメラにその景色を収めようかと。



大きめのサングラスにソフト帽とは、中之島の旅には重装備過ぎるようにも思えます。いや、これはきっと紫外線が強くて雨に降られても良いように、どんな環境にも対応できる準備ということでしょう。世界を知る男の、旅の経験値の違いを感じさせます。



和製
インディジョーンズ(!?)
初来阪。



韓流夫婦による
韓流目線の鉄板観光。

チュ・チョンフンさん(31/右) キム・ヒョスンさん(30/左) ソウル出身

サムスンでエンジニアとして働いています。有給休暇を使い、嫁さんと観光目的で訪れました。今大阪城を見学してきたところです。私たちが住むソウルのど真ん中に景福宮という国が誇る歴史的建築物があるのですが、それよりも規模が大きいのではないのでしょうか。お城周辺の敷地がパブリックスペースとして開放されている感じもいいですね。これから地元で流行している豚骨ラーメンの味を確かめに行きます。これが一番の目的です(笑)



何という一体感！ まるで卓球のミックスダブルスのようです。ピンクとレモンイエローのチョイスや襟の開け具合は、旅の開放感からでしょうか。どの国でもわかるビッグエンブレムのラルフローレンを持ってくるあたりは、世界規模の企業人ゆえの国際性でしょう。

山村 知剛さん(71)

年に3〜4回奈良から中之島にやってきます。目的は中央公会堂の絵を描くこと。それだけです。絵を書けばすぐに帰ります。中之島に半日もいないかも。5年くらい前からやっていて、いつも違う構図で描いています。今回はこの場所からにしました。公会堂を描く理由は、好きでよく旅行するフランス・パリで見かける建築物と雰囲気が非常に似ているからです。パリに行っても絵を描くので、ここで描けばパリに訪れている気分になります。



う〜ん、トラッドな着こなしが上手。半袖ではなく、オックスフォード・シャツの袖をまくるところも、カチッとした美意識を感じます。目鼻立ちがはっきりしていらっしやるので、ターコイズブルーのハンチングも難く似合っていますね。



公会堂目当ての
弾丸絵描きトラベラー。

ちょっと、隣のビルまで。

取材・文／松本 創(本誌)

第18回

[BUNJIN HALL]@北川ビル

理想のモノ・サウンドを 全身に浴びる 癒しの爆音空間。

片手間や雰囲気で聞き流さず、腰を据えて音と向き合う。かつてのジャズ喫茶とはそういう場所だったと聞く。今年1月に開店した[BUNJIN HALL]は、天満橋の水辺ビルにそんな空間をよみがえらせた。築50年の北川ビル地下で密やかに営業しながら、知る人ぞ知るネオ・ジャズ喫茶である。

何しろ音がデカイ。一瞬たじろぐほどに。鳴っているのは1940年代後半から1960年代前半の、主にモダンジャズ。「この時代のレコードは1本のスピーカーですべての音を出すことを想定したモノラル録音。僕はそのサウンドがとにかく好きで、当時の人が聴いたのと同じ音を再現したかった。いろいろ試みましたが、結局その時代の機材で鳴らすのが一番しっくり来るんですね」と、店主の宮本宏紀さん。

なるほど、音の出所は子供の背丈ほどあるスピーカー1本のみ。そこから、手に触れられそうにリアルで輝かしい音があふれ、部屋の隅々まで満ちる。まるでライブだ。

で、その爆音を全身に浴びる客たちは意外や、えらく寛いでいるのだ。ソファの背を倒して目を閉じる人。本に没頭する人。顔を近づけて言葉を交わすカップル。オーディオやジャズ好きばかりじゃなく、女性の一人客もけっこういるらしい。「いや、僕も不思議なんです。なんでこんな店に…」と宮本さんは笑いつつ、「音が大きいと逆に一人になれるのかも。周りを気にせんでいいでしょ」。

しばらくいると、耳も身体も爆音に慣れてきた。チリチリと時おり混じる針音すら心地よい。半世紀以上前の理想のモノ・サウンドを追求した店は、島民たちが水辺に自分を解き放つ癒しの空間なのである。



オーディオのパーツやアナログ盤、CDも販売。マニア筋によく売れるそう。



プレイヤーは2台あるが、片面終わればゆっくりと盤を裏返し、針を落とす。昨今のDJ文化にはない「間」が気持ち良い。



コーヒーからウイスキーまでドリンクはオール700円。スコッチの12年物も! ソフトドリンクのお代わりは400円。



ブンジンホール BUNJIN HALL

「日本に4、5台だけ」という、JBL黎明期の1950年製スピーカーをはじめ、プレイヤー、アンプ、1000枚以上のレコードに至るまでモノラル時代製にこだわり抜く。ソファや調度類もヴィンテージ物で統一。☎06-6949-2220 (ただし電話対応はほとんど不可) 1:00PM ~ 10:00PM 月&第4火曜休 (天神祭の24・25日は臨時休業)

トウニン月報

2011年7月1日発行

祝・2周年 中之島ダイビルの 夏祭り!



中之島ダイビル2周年記念イベント

日時／7月15日(金) 5:00PM～8:00PM

16日(土) 11:00AM～5:00PM

※16日の午前と午後、先着各100名に野菜の詰め合わせプレゼント。
参加店舗／焼鳥ばかや、アリアスカ・マーブルトレ、ねじばな、丸福珈琲店、穂の河、御腹、ゆずりは

2周年を迎える中之島ダイビルが、記念イベントを開催する。1階エントランスホールに屋台が出店。「焼鳥ばかや」やイタリアン「アリアスカ・マーブルトレ」といったビル内の人気店が、それぞれに名物料理を販売し、さながら夏祭りの夜店のようなになる。「オフィスビル」という印象が強いせいか、ビル内の方以外にはあまりなじみがない。近所で働いている人や住んでいる人にもっと気軽に来てもらえるようになれば」と意気込みを語るの「ばかや」の店主・

石倉知信さん。2周年記念と銘打ってはいるが「毎年楽しみにしてもらえ、恒例行事になれば」と語る。屋台のほか、ジャズの生演奏やワインの引き酒大会、有機野菜の販売も。またビル内の店舗だけでなく、同じく中之島の「ra」が主催する京阪神の農家が集うマルシェイベント「ファンタスティックマーケット」とも連動するなど、スケールの大きなイベントになりそうだ。予約不要、ふらりと行けば良いというノリも嬉しい。(大迫力・本誌)



大阪水上バスの 天神祭特別観覧席

季節ごと、多彩なイベントクルーズで島民を楽しませる大阪水上バスは、毎年、天神祭の日に設けられている天神祭特別観覧席を今年も用意。大阪アメニティブーク前に設置される特等席から間近で船渡御を眺めることができるのはもちろん、すぐ目の前の空に打ち上げられる奉納花火の迫力は思わず歓声をあげてしまうほど。毎年、すぐに予約が埋まってしまいう人気のプランだ。

大阪水上バス 天神祭特別観覧席

日時／7月25日(月) 開場5:30PM～

船渡御観賞6:00PM～ 花火観賞7:00PM～

会場／OAP港下流特別観覧席

料金／1名25,000円

(特製弁当・ドリンク付き)

予約・問い合わせ／大阪水上バス予約センター

☎0570-057771

●詳しくは<http://suijo-bus.jp>

※船渡御の船に乗船するプランではありません。

季節ごと、多彩なイベントクルーズで島民を楽しませる大阪水上バスは、毎年、天神祭の日に設けられている天神祭特別観覧席を今年も用意。大阪アメニティブーク前に設置される特等席から間近で船渡御を眺めることができるのはもちろん、すぐ目の前の空に打ち上げられる奉納花火の迫力は思わず歓声をあげてしまうほど。毎年、すぐに予約が埋まってしまいう人気のプランだ。

天満橋の京阪シティモールの飲食店では、7月25日の天神祭本宮に合わせて、屋上庭園で奉納花火を観賞できるスペシャルビューチケット付きの限定メニューを用意している。参加する9店舗の顔ぶれは、九州料理の専門店「薩摩ごかもん」をはじめ、インド料理「ビンドウ」、スペイン料理「シユハリ」など、料理のジャンルもさまざまで個性的。各店舗がこの日のためだけに作る限定料理の数々

京阪シティモールでは 天神祭限定メニュー!



写真は「ロータス・ムーン」のもの。

めだけに作る限定料理の数々を楽しみながら、屋上から大川に浮かぶ大船団の篝火や、何千発も打ちあがられる奉納花火を観れば、贅沢な気分になれること間違いなし。今年の本宮は平日とあつて、会社の「ちよっと一杯」がて

らに花火見物ができるのも、島民ならではの特権だ。(金哲志・本誌)

京阪シティモール 天神祭限定メニュー

予約受付期間／7月1日(金) 10:00AM～ ※売切れ次第終了

開催日／7月25日(月) 観覧場所／京阪シティモール屋上

料金／8,400円～(※店舗によって異なる)

予約受付場所／京阪シティモール内飲食店

(土山人、ビンドウ、シユハリ、テンマ、薩摩ごかもん、

風の街、大起水産、回転寿司、ロータス・ムーン、OLI、

ザ・オリエンタル、ヴィレッジ・ピカガーデン)

予約方法／電話、店頭など各店舗にて直接お申し込みください。

●詳しくは<http://www.citymall.jp/>

※中学生以上のお子様はチケットが必要です。



平成OSAKA

天の川伝説

日時／7月7日(木)

7:00PM頃～9:00PM頃

場所／大川、天満橋周辺

2009年からスタートした「平成OSAKA天の川伝説」が今年も開催される。このイベントは、大川から土佐堀川にかけてLED光源の電球「いのり星」を放流し、天の川のように光り輝く風景に願いと祈りをささげようというもの。7月7日、七夕の日の夕方から夜にかけて、5万個の「いのり星」を放流する。また今年は東日本大震災の犠牲者への鎮魂の意味も込めるといふ。天の川に願いを託すと共に、川に囲まれた大阪の魅力を実感できる機会にもなりそうだ。(大迫力・本誌)

大川が光あふれる 天の川伝説

京阪沿線 島民の部屋から。

取材・文／大迫力(本誌)
写真／李宗和



Data 1階には写真で紹介したり
ピング兼ダイニングスペースのほか
に2部屋。中2階があり、2階にも
2部屋がある。敷地面積は100坪ほ
どだが、欲張らずにゆったりと建て
られているのは、建てられた当時の
建築思想の反映か。まるで向田邦子
の小説に出てきそうな、古き良き「昭
和」のたたずまいを感じさせる。

ダイニングテーブルのすぐ目の前には、お庭が。植え込みがちょうど良い高さにあるため、外
の道路を歩く人と目が合う心配もない。その奥には公園。常緑樹のため、1年中、緑が見える。



ご夫婦と高校生と中学生の子供2人
との4人暮らし。料理教室は生徒を
募集中。家庭で簡単にできる本格中
華料理を習うことができるレギュラー
コース(2年間)が中心。詳細・問い
合わせは「MA-KITCHEN Chinese」
へ。<http://ma-kitchen.jimdo.com/>

糸川摩紀さんの家は、住み良いと言われる樟葉の街と共に歩んできたような印象がある。この家が建ったのは40年ほど前。昭和43年（1968）に譲が始まった「くずはローズタウン」のうちの戸として建てられた。ローズタウンは京阪電車によって計画的に造成され、「日本初の官民一体型ニュータウン」と言われる。家の目の前の公園も、同じ時期の開発によってできたそう。だ。「くずはモール街」ができたのが昭和47年だから、ちょうど同じ頃。樟葉の住宅地としての輪郭がはっきりするようになってきた時代だ。

親戚が住んでいたこの家に、糸川さんが引っ越してきたのは10年前。それまではご主人のお仕事の都合で香港で暮らしていたが、日本に転勤となり、生まれ育った樟葉の街へと戻ってきた。住み慣れた樟葉の街を、「駅から歩いて10分ほどなのに、本当に静か。駅前にはくずはモールがあつて買い物も便利だし、京都にも大阪市内にもすぐに出来る」と語る糸川さん。公園も多く、同世代の人が多く住んでいるため、子供を育てるのにも良い環境だと感じている。

糸川さんが帰国して再び樟葉に住むようになって始めたのが、香港にいた間に磨いた料理の腕を活かした料理教室。自宅のキッチンに生徒を招き、ほぼ毎日行っているという教室は、中華

樟葉

糸川摩紀さん

街と共に歴史を重ねた家で、古いものと丁寧につき合つて暮らす。



左／こちらがキッチン。最新式のシステムキッチンなどではないが、収納もたっぷりあり、整理も行き届いているためとても機能的。右／キッチンの反対側にあるダイニングスペースの一角。ベンチチェアやカーテン、本棚もすべてアンティーク。良い具合にくたびれた家の雰囲気にとっても良く似合っている。

料理を専門にした教室があまりないこともあり、遠方から通う人もいるそう。毎回4〜5名の生徒と一緒に料理を作り、その後みんなでダイニングテーブルを囲んで食事をする。

料理教室をするために、リフォームなどを行ったのかと思いきや、そんなことはないそう。40年前に建っていることから、糸川さんも建築士に相談したことがあるのだが、「とてもしっかりと造られているから、まだまだ大丈夫です」と言われたそう。

「家が古いですから、新しいものを置

うちの近所のお気に入り。



ぶちれすとらん soupe

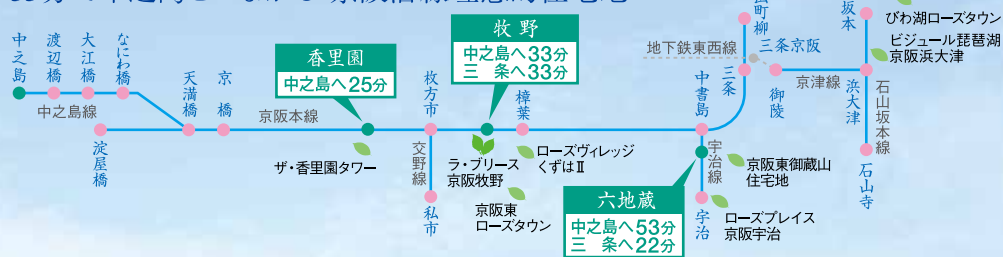
樟葉駅から歩いて5分ほど、糸川さんもちょうくよく足を運ぶという、ごはんまりとしたフレンチ・ビストロ。野菜は八幡市や枚方市船橋の農家から、鮮魚は淡路からと、素材は近郊のものを重視する。「自分の家に友達を招いて料理を食べてもらうような雰囲気大事にしています」と、シェフの成光直之さん。ランチ1,680円〜、ディナー2,500円〜。
☎072-868-3011 12:00PM ~ 2:00PM (LO)
6:00PM ~ 9:00PM (LO) 第1月曜・日曜休



当初は雑草が伸び放題だった庭も、糸川さん曰く「開墾」して美しくなった。

いてしまうと、反対に古さが目立ってしまうんです。家に馴染むよう、テーブルやイス、ソファなどはアンティークのものです。新しくするよりも、古いものとうまく付き合っていけたら」玄関も廊下も壁も、実に手入れが行き届いていて、大事に使われていることが分かる。丹精込めて造られた家と、そこで丁寧な暮らしを心がける人の良い関係が見えてくる。

33分で中之島とつながる“京阪沿線理想的住宅地”



こころまちつくる
KEIHAN
京阪電鉄

KUZUHAなう



くずは駅周辺写真



LB
ラ・ブリス京阪牧野

ラ・ブリス京阪牧野
■所在地／大阪府枚方市
■敷地面積／約7,302.34㎡
■総戸数／178戸
◆最寄駅／京阪電車「牧野」駅

※所要時間は目安です。
時間帯等により異なる場合があります。

京阪グループが提供する住まいの情報
<http://www.keihan-kiss.co.jp>

すいーと＊くずはへ。

いよいよ節電の夏がやってきます。
すでにオフィスでのクールビズはあたり前。
6月からはポロシャツやアロハシャツという、
スーパークールビズも登場しているといえます。
そんな地球環境にも私たちの
暮らしにもやさしいエコライフ。
いまこそ積極的に取り組みたい
ものです。

ところで、緑にふれあえる自転
車道が整備された京阪「牧野」駅
周辺から、お隣のくずはへは自転車でも
お出かけできます。ますますパワーアップした
くずはモジュールでショッピングやグルメを楽しんだ
後は、緑の並木が心地よくくずはアベニューを
走ってみるのも素敵です。自転車での出かけ
は断然エコライフ。そんな理想の暮らしを提唱
する、大阪ではじめて誕生するアフタヌーン
ティーと一緒にマンション。くずはのお隣で
スタートしています。



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/ MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/ブックスタジオ/天牛塚書店 大江橋店/ブックファースト 梅田店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フィルハーモニー会館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大府リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/ CITY NAIL'S インターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/ろうきんギャラリー心斎橋
- 【店舗・医院など】アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上野貸自転車/ Ultra 2nd /江戸前料理 志津可/ EXPO CAFE / MJB珈琲店/大西洋服店/ OOO (オー) /カセット/喫茶センター/喫茶SAWA/グランドスイート中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/じろう亭/ Girond's JR /心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/ティールハウスジカ/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/ NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャー/バスターレー/花かつ/ BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマアカフェ/フレイルハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとり ばかや/吉田理容所/ラ・クッカーニャ/ LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂 【公共施設・大学関連施設など】大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/ Calo Bookshop and cafe /写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/パルビコ/ホスデル64オオサカ/ MANGUEIRA / Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/ Books 呼文堂/水嶋書房 千早はもと店/水嶋書房 千早はもと駅前店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報・社会学連携事務局/大阪大学 21世紀健康堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通りストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/タバーン・シンブゾン/百練/奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 いきなり始める老松町。

「老松町が面白い」。そんな話を最近よく耳にする。
骨董品店が多く、敷居の高そうな気がしていたが、果たしてその実態は？

●『月刊島民』vol.37は2011年8月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

この街が好き、
おけいはん。

くずは駅前広場（樟葉駅下車）
楠葉けい子（大学生）

きょうも、いいこと、
見つけようかな。



京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※お掛け間違えのないようにお願いします。
[平日]9時～19時 [土休日]9時～17時 ※12月30日～翌年1月3日は休業

おけいはん、
京阪の
人。

おけいはん 検索
www.okeihan.net